

	<h1>現代の国語</h1>	
--	----------------	--

教科	科目名	単位数	学年・コース	教科書名	副教材
国語	現代の国語	2	1年S選抜	精選 現代の国語 (東京書籍)	『入試漢字マスター1800+四訂版』(河合出版) 『イラストとネットワーキングで覚える 現代文単語 げんたん 改訂版』(いいずな書店) 『新訂総合国語便覧』(第一学習社) ※3年次まで継続して使用します。大切に使いましょう。

学習目標	進学はもとより、実生活においても有効な批判的読解力と思考力の基礎を身につけましょう。
学習の進め方	この科目では、主に近代以降に書かれた論理的／実用的とされる文章を取り扱います。語彙を蓄え、語と語、文と文の関係に注意を払い、適切な読解力を身につけることはもちろん、一つ一つの教材を通じて、自分なりの問題意識を育て、筋道立てて思考する習慣を身につけましょう。また、書く活動や対話の活動を通して、考えを表現することにも目を向けていきましょう。
評価対象・方法	定期試験を中心に、小テスト／課題／授業への参画などを総合的に評価します。
受講に向けての心構えと準備	言葉を適切に運用する能力はすべての教科の学習、そしてみなさんの社会生活に深く関わっています。筋道立てて読む力／考える力／表現する力の基礎は、個人の趣味や感覚に依存するものではなく、正しい仕方、正しい練習を繰り返すことによって、誰もが必ず身につけることのできる技能です。いたずらに苦手意識を持つことなく、まずは読むこと／考えること／表現することを楽しみましょう。

	学習事項	学習内容	備考
一 学 期	《言葉を考える》 ①「届く言葉」内田樹 ②「言葉は世界を切り分ける」今井むつみ	・言葉を用いることに意識的になる。 ・言葉に関心を持って言語生活を豊かにする。	第1回 スタディサポート [4月]
	中間試験		
	《世界を考える》 ①「水の東西」山崎正和 ②「ものと記号」池上嘉彦	・安易な二項対立の抱える課題について学ぶ ・自分たちを取り巻く世界と文化について考える。	
	期末試験		
二 学 期	《共生を考える》 ①「共鳴し引き出される力」伊藤亜紗 ②「真の自立とは」鷲田清一	・具体と抽象を往復する力を身につける(1) ・異なった他者と協働する可能性を考える ・現代社会における「自立」のあり方を問い、自己を深め、広げる	第2回 スタディサポート [9月]
	中間試験		
	《自然を考える》 ①「『無駄』と進化」中屋敷均 ②「生物の多様性とは何か」福岡伸一	・具体と抽象を往復する力を身につける(2) ・自然科学領域の文章にふれる／親しむ	第1回 進研模試 [11月]  漢字コンクール①
	期末試験		
三 学 期	《文化を考える》 ①「白」原研哉 ②「少女たちの『ひろしま』」 梯久美子	・抽象性の高い文章を読み解く。 ・文章を適切に読むことに加えて、 文章から考えを展開する第一歩を踏み出す	第2回 進研模試 [1月]  漢字コンクール②
	学年末試験		

